

康

「いま一番欲しいモノは、自分の仕事をひとりで表現できる肩書きですね」と顔をほころばせる坂田康太郎さん。プロフィールにもある通り、オペラをはじめとするクラシック音楽のプロデューサーというのが最も分かりやすいのだが、仕事を列挙してもらおうとプロデュース業に留まらないのだ。テレビやラジオ番組で解説をし、音楽誌や機内誌、ファッション誌、芸術誌での執筆。音楽会を主宰する一方で、テレビコマercialの制作、テレビやラジオ番組の制作やイベントも手掛け、おおよそ「クラシック」と名の付くものならほぼ手掛ける坂田さん。その仕事で最も苦心するのが「若手の育成」と言う。



Sakata Kotaro ●さかたこうたろう

音楽プロデューサー、株CAP代表取締役社長
神奈川県生まれ。東京理科大学を卒業後、大手広告代理店に勤める。退職後はクラシックコンサートや海外のオペラ招聘に携わりながら、企業が芸術・文化活動を支援するメセナ活動や若手芸術家たちを支援。音楽芸術を通して企業のCRM（顧客関係管理、顧客満足度を向上させる取り組み）、CSR（企業の社会的責任）構築で多くの実績をあげている。海外有名アーティスト、オペラ歌手、指揮者との関係も深い。現在、テレビ、ラジオ、雑誌など幅広いメディアで活躍中。

大人のオペラサロン ～オペラの魅力を楽しく伝授～

オペラは敷居が高い？ そんなことはありません。本講座ではオペラのいろはをお教えいたします。今まで、オペラを観る機会がなかった方や、オペラをもっと楽しみたいという方にお勧め！

日時／12月21日 歌劇王！ ヴェルディの果たした偉大な功績
1月18日 プッチーニで完結！ するイタリアオペラ
以降も、毎月第3日曜14時30分～16時に開催
会場／三越日本橋本店 新館9Fカルチャーサロン
料金／1回体験料金 3780円。要事前予約。
〓三越カルチャーサロン ☎03-3274-8595（10～19時）

など、社会性が備わっていない、もしくは間違った手法を身に付けてしまっている場合が多いんですね。ちよつと変わった人って芸術家肌と言われて、まるでいいことのように思われていますが、実務面がでないと現実が見えず、芸術家としてステツプアップしづらい。彼らに必要なのは、自分を売り込む能力。ですから彼らがセルフプロデュ

ろう。人生のインストラクターといった方がいいかもしれない。さて、日本でトップクラスの音楽大学に入学できるのはごくわずか。しかも楽器によつては年に数名ということも珍しくない。一般的な大学より狭き門であることに加え、就職率も低いのが実情だ。

「これほど人生にとって不利な場所に飛び込んでくるんですか」
ひとりのアーティストが一人前になるには時間も要するが、10年をかけて育ててきた坂

こうした関係が新しい音を創造する力になるんです。プロデューサーとしてはどんな音ができるか、ワクワクしますね」
急にインストラクターからプロデューサーの顔に戻った坂田さんだが、最後に解説者としての一面も見せてくれた。

「結婚式でよく使われるトチャンチャチャヤーンという音楽、あれはワーグナーの『婚礼の合唱』結婚進行曲と呼ばれることもある」ですが、実は不幸のプレリユードで、祝い事にふさわしくないんです。それから映画『リタイ・ウーマン』はアンハッピーエンドのオペラがベースとなっています。まるで幸せな結末に描いていますが、ふたりがその後別れるという布石が打たれている。クラシックを知っていると、作品に暗示される実は……が分かって、人生が豊かになりますよ」

坂

つながり
巻頭
Interview

田

若い芸術家が生み出したつながりが新しい音楽を創造する原動力。

クラシック音楽のプロデューサーである坂田康太郎さん。クラシックと名の付くものは、ほぼ手掛けているなかでもっとも時間がかかる仕事は「若手の育成」という。ただし、育てているのは音楽ではなく、人間性だ。そうして育った若手が新しいつながりを生み始めている。

写真／金子マヤ

太

田さんの地道な「仕事」が少しずつ実を結び始めているという。「若手アーティストが少しずつひとり歩きはじめました。彼らが動くことで、線が描けるようになり、その線がさまざまなアーティストと交錯して、次々とつながりが生まれています。

郎

ユースできるように育てることが、仕事で最も気を遣っているところなんです」
自分の収入を確保する手立てを教え、税金の仕組みや目標を立て方を教え、ときにはメールの文面も指導するというから、時間も手間もかかるのは当然だ

